

令和4年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

東京有明医療大学

令和5年7月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 □ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 東京有明医療大学動物実験規則 ・ 東京有明医療大学動物実験実施要領 ・ 飼養及び保管マニュアル
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験規則において基本指針を十分網羅した上で適正な動物実験が行われている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 東京有明医療大学動物実験規則 ・ 東京有明医療大学動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則した大学全体の動物実験委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 東京有明医療大学動物実験規則（別紙様式1～10含む。） ・ 東京有明医療大学動物実験実施要領（様式1～2含む。）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に則して動物実験計画書の立案に関わる各種様式が適正に定められており、また実施体制も定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

- | |
|---|
| 1) 評価結果
☐ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
☒ 該当する動物実験は、行われていない。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料
該当せず。 |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
該当せず。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。 |

5. 実験動物の飼養保管の体制

- | |
|---|
| 1) 評価結果
☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
☐ 多くの改善すべき問題がある。 |
| 2) 自己点検の対象とした資料
・ 東京有明医療大学動物実験規則（別紙様式1～10含む。）
・ 飼養及び保管マニュアル（様式3～4含む。）
・ 実験動物管理台帳
・ 実験動物搬入届（別紙様式3）
・ 動物実験状況報告書（別紙様式6） |
| 3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
実験動物の飼養保管施設は特定されており、適正な飼養保管体制といえる。 |
| 4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。 |

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

--

Ⅱ．実施状況

1．動物実験委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 東京有明医療大学動物実験規則 ・ 東京有明医療大学動物実験委員会議事録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書に関しては委員間において活発な議論がなされ、当該年度の実験結果報告書の審議についても問題なく完了している。また審議内容も大学協議会において報告されており、体制として十分機能している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

2．動物実験の実施状況

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 東京有明医療大学動物実験規則 ・ 東京有明医療大学動物実験実施要領 ・ 動物実験計画書 ・ 動物実験状況・結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案内容に則した動物実験が行われ、結果報告においても問題点はなかった。
4) 改善の方針 該当せず。

3．安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき点がある。 ■ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 該当せず。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当せず。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・東京有明医療大学動物実験規則
- ・飼養及び保管マニュアル
- ・実験動物管理台帳

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験室、飼養及び保管マニュアルの整備を継続的に行った。また飼養動物の種類・使用頭数につき、適正に台帳管理されている。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ・東京有明医療大学動物実験規則
- ・動物実験室設置承認申請書
- ・飼養保管施設設置承認申請書
- ・動物実験委員会議事録

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

飼養保管ラックの温湿度管理については注視し、問題点が発生すれば対応可能な体制である。また施設内の消耗品類については各動物実験実施者が適宜対応しており、十分な体制が整備されている。

4) 改善の方針、達成予定時期
該当せず。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

外部機関の講習会への積極的参加、また動物実験委員及び動物実験実施者（学生を含む。）に対

し日本実験動物学会の推奨する『動物実験の実践倫理e-learning』の受講を義務付けている。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 該当せず。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・東京有明医療大学動物実験規則 ・動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・東京有明医療大学ホームページ【動物実験に関する取り組み】
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 令和4年度動物実験自己点検・評価報告書については、動物実験委員会の審議を経た上で学長決裁を受け、大学のホームページ上で公開している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当せず。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし
